

### 医療従事者の勤務環境の改善について

**医療従事者の勤務環境改善の促進**

医療従事者の労働防止や医療安全の確保等を図るため、改正医療法（平成26年10月1日施行）に基づき、医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組み（勤務環境改善マネジメントシステム）を創設。医療機関の自主的な取組を支援するガイドラインを国で策定。

医療機関のニーズに応じた総合的・専門的な支援を行う体制（医療勤務環境改善支援センター）を各都道府県で整備。センターの運営には「地域医療介護総合確保基金」を活用。

医療従事者の勤務環境改善に向けた各医療機関の取組（現状分析、改善計画の策定等）を促進。

**勤務環境改善に取り組む医療機関**

勤務環境改善マネジメントシステム

Plan: 現状の抽出、課題の抽出、改善計画の策定

Do: ガイドラインを参考に改善計画を実施

Check: 定期的な評価

Act: 変更の改善

厚労省の職場環境改善支援サイト

### 暴力・ハラスメントへの組織的な対応



厚労省の職場環境改善支援サイト

### ワクチン4回目接種

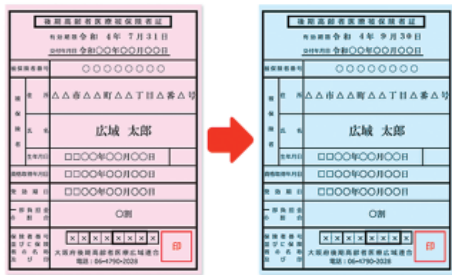
## 歯科医師も対象へ

厚労省は7月22日、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種の対象を、新型コロナウイルス感染者等に頻りに接する機会のある医療機関や高齢者施設・障がい者施設等の従事者にも拡大した。感染の急拡大を受け、医療機関や高齢者施設等で集団感染が発生するのを防ぐのが狙いだ。

医療従事者には歯科医師や歯科衛生士などの歯科医療従事者も含まれる。なお、接種は3回目接種から5カ月以上経過している必要がある。

接種には原則4回目の接種券が必要となるが、

### 「後期」保険証8月から変更



有効期限：2022年7月31日 → 2022年9月30日

後期高齢者の保険証が、2022年8月1日からブルーに変更になる。7月中に被保険者に簡易書留で届く予定。ただし、ブルーの被保険者証は同年9月30日が有効期限のため注意が必要。

自治体によっては不要な場合もある。接種券の配布状況、要不要や接種会場については各自治体のホームページを確認してもらいたい。

### 第1回

## 暴力・ハラスメントの予防策 対策マニュアル確認を

関西医科大学看護学部精神看護学領域教授 三木明子氏

近年、患者トラブルに関する事件が相次いで起こっている。患者から執拗に苦情を受けた場合、どのようにすればトラブルを未然に防げるのか。医療現場の暴力問題を研究する関西医科大学の三木明子教授と矢山壮准教授に解説してもらおう。

2021年12月、通院患者による放火で院長を含む26人の犠牲者を出した（北新地ビル放火殺人事件）。2022年1月、家族が医師を人質に立てこもり散弾銃により医師が死亡、医療従事者2人が負傷した（ふじみ野市人質立てこもり事件）。2017年1月、患者による歯科院長刺

殺事件が発生し、当時の岐阜新聞の取材記事を読み返すと、「病院や診療所間での横のつながりを生かした連携を取る必要がある」などとコメントしていた。容疑者は歯槽膿漏の治療で歯を抜かれたことに不満を抱き、医院とトラブルになっていたとみられ、事件4日前の16日に苦情の手紙が届

大阪社保協  
**全市町村アンケート**  
学校歯科保健

### 歯磨き実施率に格差

小学校における歯科保健対策について、給食後

順位	自治体	実施率
1	豊能町	100%
1	田尻町	100%
3	阪南市	88%
4	岬町	67%
5	太子町	50%
6	寝屋川市	42%
7	八尾市	39%
8	泉佐野市	36%
9	富田林市	31%
10	交野市	30%

2021年度、大阪社保協調べ

協会が常任幹事を務める大阪社会保険推進協議会が6月に実施した府内全市町村アンケートの結果を連載で紹介する。

小学校における歯科保健対策について、給食後

大阪社会保険推進協議会が6月に実施した府内全市町村アンケートの結果を連載で紹介する。

太子町50%が上位を占めた。政令市の大阪市は16%にとどまった。一方、摂津市や門真市、藤井寺市の歯磨きの実施状況を尋ねた。

給食後に歯磨きを実施している小学校の割合は、豊能町・田尻町が100%を達成。続いて、阪南市88%、岬町67%、太子町50%が上位を占めた。政令市の大阪市は16%にとどまった。一方、摂津市や門真市、藤井寺市の歯磨きの実施状況を尋ねた。

市、岸和田市など15市町は0%となり、実施率に大きな格差が生じている。堺市や豊中市など14市町村は未回答または、実施の有無を未把握と回答しており、学校任せになっている現状が浮き彫りになった。

給食後の歯磨きが十分に普及していない背景には、コロナ禍での感染対策や水道設備の不足、給食後の時間の確保などの課題がある。子どもの口腔内の健康を守るために、自治体の役割が問われている。

### 患者暴力等のトラブル対応と予防策

**医療施設における暴力・ハラスメントの予防策**

1. 病院職員から積極的に患者等とコミュニケーションをとりましょう
2. 暴力等を絶対に許さない病院の姿勢を示しましょう
3. 患者の症状や状態を把握し、暴力等の発生の誘因を取り除きましょう
4. 暴力等の履歴を把握し、事前にチームで対応方法を決めておきましょう
5. 発生した事例に基づき、暴力等の対応マニュアルを改訂しましょう
6. 暴力等の発生しやすい時間帯や場所を同定し、警備員等による巡回を行いましょう
7. 緊急コード、通報手順、報告ルートを確認しておきましょう
8. 定期的に暴力等の対応のための実地訓練を行いましょう

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/27620>

か。容疑者は他施設でも苦情を言いトラブルになっていたことから、事前に地域で情報共有し、未然に発生を防ぐ体制を整える必要はないか。

医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組みが導入され、図のように暴力・ハラスメントへの組織的な対応が取り上げられている（QRコード参照）。

初回は、厚労科研の成果物である医療施設における暴力・ハラスメント対策マニュアルのうち、予防策を抜粋した。実施可能な対策はないか、確認いただきたい。

QRコード  
情報

譲ります

【機材名】GCイオム（40万円）、チェア（G C、モリタ）、デンタル（アサヒMX-60等）、CT（アサヒPSR9000N）、パノラマ（アサヒAuto III NC M）、オートクレーブ、ダイアグノデントなど

【条件】閉院に伴い、多数の器械器具を無料10万円でお譲りします。移設費用は各自で負担ください。詳細は要問い合わせ。【連絡先】協会新聞部

## 協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ



参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

**無料相談**

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

法律	雇用	税務
9月5日(月) 午後2時～4時	9月15日(木) 午後2時～4時	9月21日(水) 午後2時～5時

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

**歯初診の施設基準に係る研修会**

【会員本人限定】施設基準研修会

日時 10月22日(土) 午後6時～6時30分

会場 M&Dホール

講師 社保研究部講師団

会場 M&Dホール

講師 津田康博氏(東大阪市開業、労働衛生コンサルタント)

定員 80人

会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

定員 80人+Zoom

**歯初診の施設基準に係る研修会**

【会員本人限定】施設基準研修会

日時 9月25日(日) 午前10時～11時30分

会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)

講師 津田康博氏(東大阪市開業、労働衛生コンサルタント)

定員 80人+Zoom

会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

定員 80人+Zoom

**Zoom併用 大阪市東部・北部地区講習会**

歯の酸蝕症特殊健診の実際〜明日、依頼の電話が来たら

日時 9月25日(日) 午前10時～11時30分

会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)

講師 津田康博氏(東大阪市開業、労働衛生コンサルタント)

定員 80人+Zoom

会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

定員 80人+Zoom

**Zoom限定 9月度生涯研修**

磁性アタッチメント義歯の実際

日時 9月4日(日) 午前10時～午後1時

講師 鱒見進一氏(九州歯科大学名誉教授)

会費 3千円、未入会者1万円

定員 100人